

分類	収集の経緯	主な作家
<p>関西の現代作家 コレクション</p> <p>約4,500点</p>	<p>・<u>関西を拠点に戦後日本の美術界で活躍した現代美術作家の展覧会を1990年代に国立美術館や現代美術センターで開催。その出品作品</u></p>	<p>・須田剋太(司馬遼太郎「街道をゆく」の挿絵原画で有名)、 ・津高和一(ニューヨーク現代美術館やサンパウロ現代美術館などにも作品が所蔵) ・三尾公三(雑誌「focus」の原画) ・金光松美(ニューヨークで活躍した日系アメリカ人画家) 元永定正(1970年万博のころ、具体美術協会で活躍)など</p>
<p>世界の現代美術 コレクション (大阪トリエンナーレコ レクション他)</p> <p>約300点</p>	<p>・<u>1990-2001年までに毎年開催した、「大阪トリエンナーレ」という国際現代造形コンクールの受賞作品等。東欧・アジア・アフリカ・ラテンアメリカ・オーストラリア・日本など世界各国の様々な作家の作品(絵画・版画・彫刻)</u>を幅広く集めている</p>	<p>・アンゲリカ・ミゲンドルフ(ドイツ・ロシアで活躍) ・イマンツ(オーストラリアで活躍) ・チャン・ミンジェ(中国の伝統を現代美術に活かした作品) ・モラロキ&ハーテル(南アフリカで活躍)など</p>
<p>現代版画 コレクション</p> <p>約840点</p>	<p>・現代美術センターで、「現代版画コンクール」等を開催。その出品作品</p>	<p>・前田藤四郎(昭和の大阪・神戸のモダニズム版画) ・浅野竹二(新大阪風景)など</p>
<p>現代写真 コレクション</p> <p>約1,560点</p>	<p>・<u>1990年「国際花と緑の博覧会」開催時に展示した国内外の優れた写真作品</u></p>	<p>・岩宮武二(戦後の関西で活躍した写真家) ・津田洋甫(戦後の浪華写真倶楽部を牽引) など</p>
<p>その他</p> <p>約700点</p>	<p>・<u>1992年スペイン・セビリア万国博覧会で開催した「サイエンス・アート」展の出品作品</u> ・関西国際空港開港記念「飛・翼・翔」書展 ・屏風に描く大阪ビジョン21 等の作品</p>	<p>・田中一光(ニューヨークADC 金賞→殿堂入り 紫綬褒章)</p>